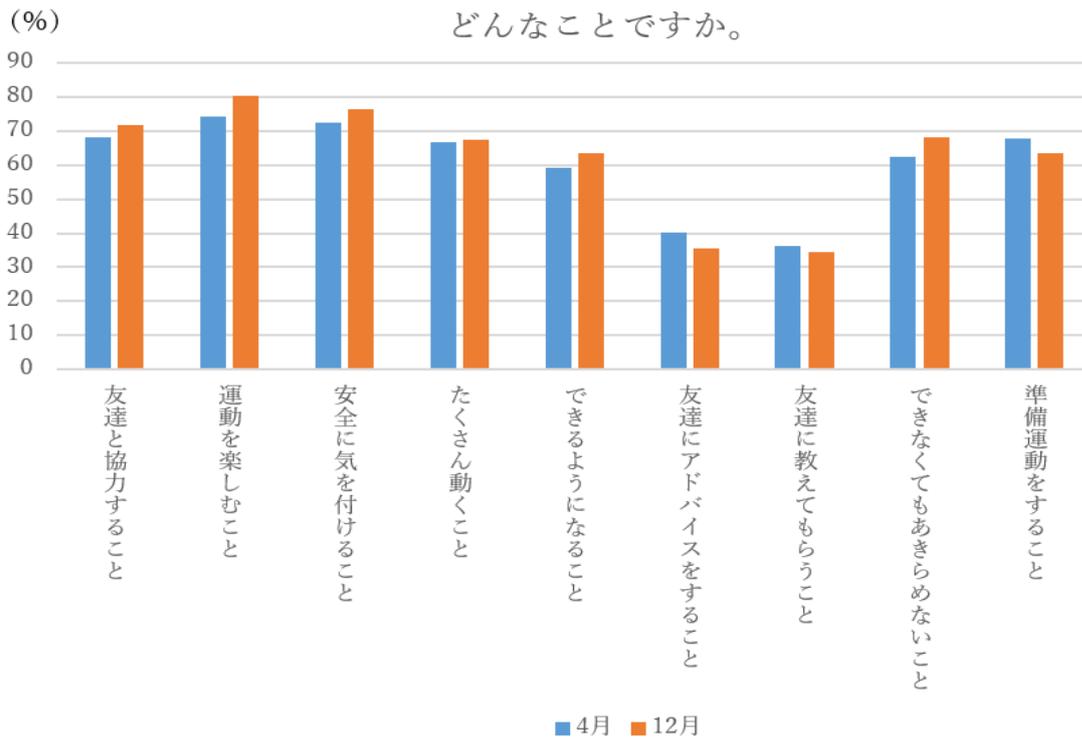


アンケートの結果より 成果と課題

今年度(令和5年度)の4月と12月に、全校児童(1～6年生902名)を対象とした健康(運動・生活・食)に関するアンケートを実施し、意識の変化を調査した。以下は、その分析結果である。

【運動】 体育の授業で大切にしていることは、 どんなことですか。



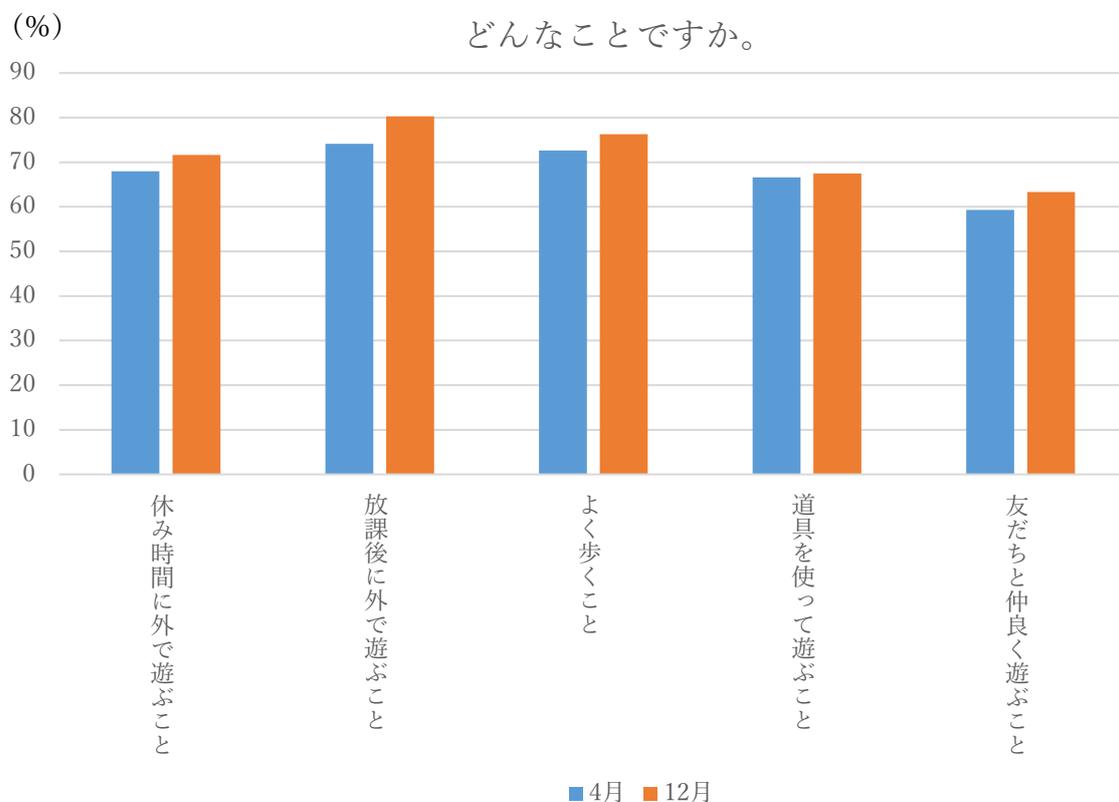
【成果】

- ・4月と12月で数%上がった項目があり、運動に関する意識の向上が見られる。
- ・特に、「運動を楽しむこと」に関しては、児童の80%が大切だと考えている。普段の体育の学習を通して、運動することの楽しさを感じられるようになった児童が多いのではないかと考えられる。
- ・「できなくてもあきらめないこと」に関しても数値が上がっている。研究主題に向かうための手立ての1つ、「はい、できた」において、児童に達成感を味わわせることのできる場の設定等を工夫してきた成果と考えられる。

【課題】

- ・友達との関わりに関しては、4月も12月も意識が低いままである。授業内では、友達同士の関わり合いが多く見受けられており、アンケート結果からも、「協力すること」が大切だと考えている児童は多い。しかし、アドバイスをしたり教えてもらったりすることが大切だという意識へはつながっていない。このことから、友達と関わり合うことのよさを、体育の授業の中で価値付けていく必要があるのではないかと考える。

【運動】遊ぶときに大切にしていることは、
どんなことですか。



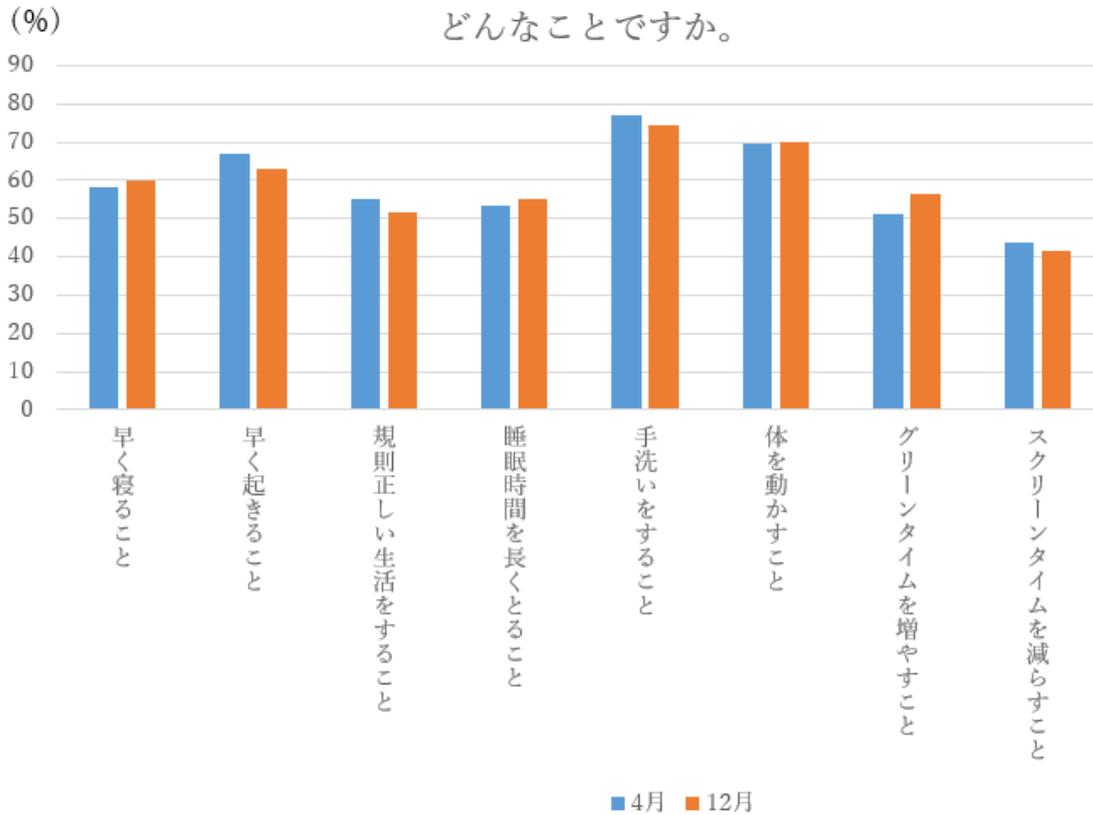
【成果】

- ・すべての項目で、意識が数%上がった。全学年で取り組んできた健康教育に関する授業を通して、体を動かして遊ぶことを大切にする児童が増えたのではないかとと思われる。体を動かすとセロトニンが分泌されることなどを学習したことで、遊びや体を動かすことへの意識が向上し、日常生活に生かされてきていると考える。
- ・特に、「放課後に外で遊ぶこと」が大切だと考えている児童が増え、80%となった。学習を通して、外に出ることが大切だと理解し、意識するようになったのではないかと考える。

【課題】

- ・若葉小学校の運動敷地不足という環境から、休み時間に外で遊べる時間が短かったり、習い事等で放課後に外で遊ぶことができなかつたりする実態がある。そのため、外遊びが大切だと感じているものの、児童が実践できていない場合もあると考えられる。限られた時間や環境の中でも、児童が日常的に外に出る習慣を身に付け、より健康的な生活をしようとする意識を高めていく必要がある。

【生活】生活の中で大切にしていることは、
どんなことですか。



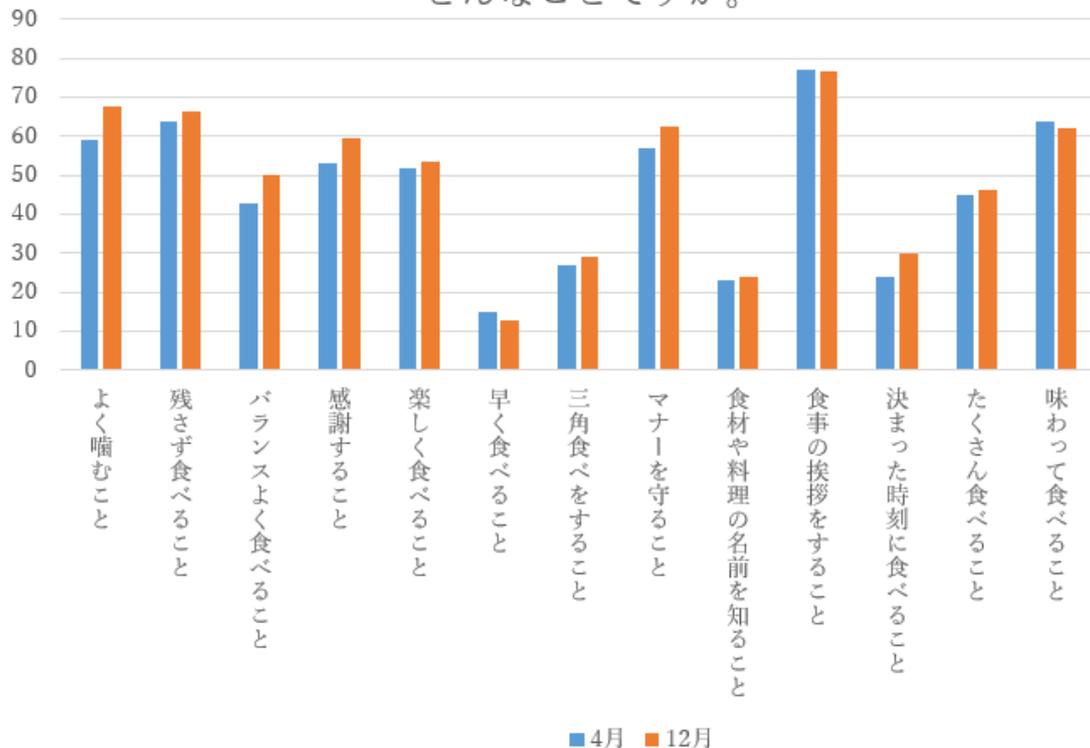
【成果】

- ・「グリーンタイムを増やすこと」に関して、大切だと感じている児童が増えた。外に出て、日光を浴びることへの意識が高まったことが分かる。
- ・早く寝ることに関しては大切だと感じている児童が増えた。日本体育大学教授野井先生による講演で、「よい眠りのためには暗闇が大切」ということを学び、意識して早く布団に入る児童が増えたのではないかと考えられる。

【課題】

- ・「スクリーンタイムを減らすこと」が大切だと感じている児童が40%程度と低い。授業を通して、スクリーンタイムを減らすことが大切だと頭では分かっているが、生活の中で行動することができていない可能性が考えられる。特に高学年は、タブレットやスマートフォンなどの端末がそばにある環境で生活している児童が多い。そのような中で、スクリーンタイムを極力抑え、めりはりのある使い方を考えさせていくことが大切である。
- ・生活面に関しては、授業を通して学習した直後は意識が高まり、行動に結び付けていこうとする意欲が感じられるが、生活の中で実際に行動し、習慣化していくことには課題が見られる。少しでも多くの児童が健康を意識して生活を送ることができるよう、継続的な学習を通して意識の定着化を図っていくことが大切なのである。

【食】食事をするとき大切にしていることは、
 どんなことですか。



【成果】

- ・4月と12月で、数%上がった項目が多く、食事に関する意識の向上が見られる。
- ・特に、「よく噛むこと」・「バランスよく食べること」・「感謝すること」の3項目の数値が大きく上がっている。食に関する授業で、バランスのよい献立を考えたり、身近な栄養士や調理員へのインタビューを聞いたりしたことで、実感を伴って理解できた学習の成果だと考えられる。

【課題】

- ・「三角食べをすること」・「食材や料理の名前を知ること」・「決まった時刻に食べる」の3項目は、大切だと考えている児童の割合は少ないままであった。なぜ三角食べをするよいか、名前を知ると何がよいか、なぜ決まった時刻に食べるとよいか、ということへの理解が低いと言える。これらの面に焦点を当てた授業も展開していきたい。
- ・学習したことを、日常生活で引き続き意識したり行動したりできるよう、日々働き掛けることで、児童の意識の変化につながるのではないかと考える。